



1984年03月05日

「フォルクスワーゲン 新型ゴルフ 発売開始」

ヤナセでは、新型ゴルフを四月中旬より、全国のヤナセネットワークを通じ、一斉に販売を開始する。

新型ゴルフは、九年ぶりにフルモデルチェンジを行い、昨年八月にヨーロッパで発売された。前モデルの持つ優れた基本コンセプトをあくまで踏襲し、最新のエアロ技術の採用により、空気抵抗値 $C_d=0.34$ と、このクラスでは最小の数値を実現し乍ら、一段と従来のゴルフに比べて大きくなった。更に、品質の向上、細部の改良がはかられ、優れた経済性、数々の新採用先進技術が高い評価を受け、発売以来、ヨーロッパにおいて既に十万台以上が販売された。また、ヨーロッパで最大の発行部数を誇る日曜誌"ビルト・アム・ゾンターク"主催の"84ゴールデンステアリングホイール賞"を獲得した。

尚、今回の販売を機にゴルフガソリン車のラインアップの中で、あらたに左ハンドル車二機種を追加設定した(Ci 2ドアM/T、4ドアA/T)。

新型ゴルフ開発意図は、

1. ベストセラーとなった従来のゴルフのコンセプトを基本的に維持し、新型モデルに引継いでゆく
2. 最新の機能的なスタイリングを生み出すと同時に、室内スペースの拡大によって居住性を高める
3. 一層の燃費向上をはかる
4. 品質と耐久性を更に高める
5. サービス、メンテナンスの作業量を軽減する

ことにおかれ、それぞれの分野から検討を重ねた結果、新型ゴルフは有効スペース、運転のし易さ、性能、経済性を一段と向上させた。

新型ゴルフの主な特徴は次の通り。

1. コンセプトとデザインの継続性

従来モデルの持つ独自デザインとスタイリングのイメージを残しながら、ボディの拡大(全長70mm、全巾で55mm、ホイールベースで75mm)と室内スペースの拡大(リヤトレッドで50?65mm)をはかり、居住性・快適性を向上させた。また、リヤのシートスペース、トランクスペースの拡大、リヤテールゲイトの形状変更により、荷物の積降ろしがより容易になった。

2. 細部にわたるエアロダイナミクスの追求

走行性能と同時に経済性を向上させるため、細部にわたってエアロダイナミクスを追求した結果、空気抵抗係数(C_d 値)は従来モデルより19%改善した0.34を達成した。ウインドーガラス、三角窓はボディ表面と一体化され、ルーフエッジの雨どいが空気と水の流れをコントロールし、風切音の低減に役立っている。さらに車体下側のデフレクターの採用により、リヤアクスル部の空気の流れをコントロールするなど、細部にわたって空気抵抗の減少をはかった。

3. スペースの有効利用

従来モデルのコンセプトであるスペースの有効的な利用は、新型ゴルフによりさらに改良され、コン

パクトな外観ながら、横置きエンジンとサスペンションのレイアウトによって広大な室内空間を確保している。室内長は37mm長く、エルボールームはフロントで92mm、リヤで120mm(2ドア車では112mm)拡大された。この結果、室内有効スペースは2.6㎡となった。さらにトランクスペースは従来モデルより、30%(76l)拡大され、336l(11.86立方フィート)になり(VDA方式:100×200懸ける50mmブロック計測)、より大きく、バンパーの高さまで開閉できるテールゲイトの採用により、荷物の積降ろしはより容易になった。

4. ベンチレーションとヒーティングシステム

新デザインベンチレーションとヒーティングシステムの採用により、常時快適な温風/冷風のミックスが得られ、静粛性の向上とともに乗客の快適性を確保。

5. 新型エンジン

新設計の1.8l、90馬力ガソリンエンジンにはボッシュ社製KEジェットロニクの機械式燃料噴射装置を採用、低回転数での力強いトルクとフレキシビリティを得、柔軟性、瞬発力の強さと燃費低減をもたらせた。

これまでの定評のある1.6l54馬力ディーゼルエンジンの採用は従来通りだが、エアロダイナミックボディにより燃費がさらに低減した。

6. 活力ある性能、低燃費、行動半径

効率の良いエンジン、低減された空気抵抗、車体重量の軽減により、新型ゴルフは燃費の低減のみならず、最高速の向上を達成、更に、燃料タンク容量の増大(55l)により航続距離が伸びた。

7. 高度の安全性と快適な走行ギヤ

従来モデルにも採用されていた数々の安全機構にさらに改良を加え、新型ゴルフには新しいサスペンションレイアウトが採用された。フロントサスペンションには新しく、より大きなアッパースプリングストラットマウントが採用され、ホイールからの騒音、振動が低減、トレッドとホイールベースの拡大にともなってロードホールディングがより向上。また従来同様、ネガティブステアリングロールラジアスの採用によってブレーキング時の直進安定性を確保している。リヤサスペンションにはVセクションビームとトラックコレクティングマウントが追加され、コーナリング特性の向上がはかられ、さらに6%増加したスプリングトラベルと、ショックアブソーバーの補助ラバースプリングの追加により、乗心地が向上した。

8. その他

新素材のブレーキパッドの採用、新しいエキゾーストシステムの採用、ボディ空洞部分へのホットワックス充填、シートメタルの防錆処理、ボディ下部のアンダーコート等により品質と耐久性が一段と向上し、サービス、メンテナンス費用を軽減。また、スペースを有効に使用できる合成樹脂製燃料タンクの採用等で車体重量の軽減化もはかられている。

資料提供:株式会社ヤナセ